### 

# 告示対象条項 低炭素投資促進法告示 2項46号 条文 業務の用に供するガス給湯器のうち、潜熱回収型のものに限る。

## 潜熱回収型業務用 ガス給湯器とは

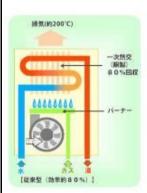


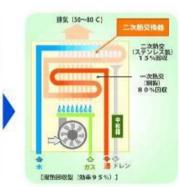
潜熱回収型業務用ガス給湯器とは、業務需要向けのガス給湯器で、従来の熱交換器に二次熱交換器を加え燃焼排ガス中の潜熱を回収して熱効率をアップさせた機器です。

小・中規模店舗向け24号以下の単独設置タイプやホテル・寮・老人介護施設等の大量のお湯を必要とする大規模施設向けの32~50号の連結設置タイプが用意されています。

また、潜熱回収により燃焼排ガスの温度が低くなったことにより厨房の排気フード下に設置が可能になったタイプも開発されています。

# しくみ メリット・特長





二次熱交換器で排気中の水蒸気を水にすることにより、温度計では計れない排気中にひそむ潜熱をも回収して、熱効率を大幅に向上させることができました。

### 1. エコロジー CO<sub>2</sub>排出量約13%削減

潜熱回収型業務用ガス給湯器は大気中に不要な熱の放出を低減し、CO<sub>2</sub>排出量の削減、地球温暖化防止に貢献します。

独自の排熱(潜熱)回収システムにより、大気中への不要な熱の放射をカットし、CO<sub>2</sub>排出量を約13%削減しました。

### 2. エコノミー 95%の給湯熱効率を実現

従来の給湯器では約80%が限界だった給湯熱効率を、排熱(潜熱)回収システムにより約95%までに向上しました。これにより省エネルギーを実現し、大幅なランニングコストの削減を実現しました。

### 3. 「瞬間式」で使用する度に省エネ

給湯の使用量は一日及び年間で一定ではありません。瞬間式給湯器である潜熱回収型業務用ガス給 湯器は必要な給湯量を必要な時に作るので、無駄にお湯を沸かすようなことがありません。 潜熱回収型業務用ガス給湯器 (高効率業務用ガス給湯器の一種)

種類(例)



小・中規模店舗向け24号



50号連結



32号連結

排気フード下設置



潜熱回収型業務用 ガス給湯器 導入事例







	潜熱回収型業務用ガス給湯器 (高効率業務用ガス給湯器の一種)

関連工業会	社団法人 日本ガス石油機器工業会
開発メーカー	高木産業株式会社
五十音順	株式会社ノーリツ
	株式会社パロマ
	リンナイ株式会社
販売価格帯	・■300万円未満 ・■300~1,000万円 ・□1,000~5,000万円 ・□5,000万円超 ・その他(約 万円)
Reduce CO2	
環境効果	(享出条件)
Save Energy 省エネ効果	1. 瞬間式のため水道直結も可能となり受水槽が不要です。また、屋外設置によりボイラー室も不要となるなど トータル設備費が大幅に削減できます。
	2. 排気フード下設置のタイプは、排気温度が低いためテナントや地下街などの飲食店において厨房用集合排 気ダクトに接続が可能で従来の設備をほとんど変更しないで済むので、設置に伴う工事費が大幅に削減で きます。
Save Money 経済効果	60人が生活している施設などで上記の条件でお湯を使用した場合には、熱効率80%の従来型と比較して1年間で約660,000円のガス代の節約になります。
適正リース期間	